

丘便り

2025.2 冬号
グループホーム丘

まだまだ厳しい寒さの日もあり、春の訪れが待ち遠しい毎日ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

冬といえば火災が増える季節です。天災・人災問わず、人命にかかわる災害が多く起きており、今回は緊急時についてまとめました。グループホームでは災害訓練を年間を通して定期的に行っています。

BCP（事業継続計画）

地震



土砂



火災



B…Business
C…Continuity
P…Planの略

自然災害等の非常事態時において営業停止や取引先の減少等などによる被害を最小限に抑えつつ事業の継続あるいは早期復旧を可能にするために緊急時に行うべき行動などをあらかじめ取り決めておく計画のこと。（札幌市HPより）

私たちは自然災害等の非常事態時において、利用者の生命の危険や機能低下がもたらされないよう、災害時であっても最低限のサービスを継続していく必要がある為、BCP（事業継続計画）教育を年2回実施しています。

BCP記載内容

BCPには、BCP策定・運用目的、対策

本部編制、参集方法、備蓄品、災害時献立表、初動対応・業務優先順位、災害時対応体制、被害想定、などが定められています。

どんな事をしているの？



BCP教育

BCPにより、災害を想定した避難開始から避難完了までの机上訓練で、どのような対応をとるのかなどを検討する研修も行っています。

今年度は6月に今年度1回目の訓練が行われ、「5月下旬、前日に一日中雨が降った後に震度6の地震が発生」という想定で行われました。

それでは次のページより、グループホームでの緊急時の対応と、いざという時に役立てられるよう、救命について紹介します。



緊急を要するときって？

転倒、意識低下・消失、発熱、嘔吐、異食、その他体調変化・事故など。



緊急時にはどんな対応をしているの？

まずは**意識確認**と**体調確認**をします。

(顔色・表情・発言、歩行状態・痛みの有無と強弱、バイタル測定、排泄物など)

意識あり



発熱・頭痛・嘔吐・めまい・重複視・虚脱・胸苦・麻痺・言語障害・転倒・打ち身・骨折疑い・身体の激しい痛みなど。

☞状態の観察をします。

(こまめなバイタル測定や持病・既往歴の確認、安楽な体勢の保持)

☞状態により主治医に相談や緊急受診をします。

意識なし



悪化

119番通報をし、出来る対応をします。

・声掛け ・応急手当 ・心肺蘇生



心肺蘇生って どうすればいいの？

①声掛けや肩を軽く叩くなどし、反応を確認します。反応があれば具合を尋ねましょう。

②反応がなかったり判断に迷う場合は、普段通りの呼吸があるか確認します。

③呼吸がなかったり判断に迷う時はためらわずに胸骨圧迫を始めます。

・胸が5cm沈むように強く圧迫する ・1分間に100～120回のテンポ ・中断せず絶え間なく続ける

④AEDを使用します。

※明らかな心拍再開と判断できる反応が見られたか、救命隊に引き継ぐまでパッドは外さず電源も切らずにしておきましょう



グループホーム西円山の丘は、認知症対応型共同生活介護になります。

認知症の方が、小規模な生活の場において食事の支度・掃除・洗濯などを職員と共に、家庭的な雰囲気の中でその人らしい穏やかな生活が出来るように支援する場所です。

現在、75歳から104歳の方まで3ユニット27名の方が入居されております。ご興味のある方はぜひお問い合わせください。お待ちしております。

グループホーム西円山の丘の詳細はホームページでご案内しています。

HP: <https://www.keijinkai.com/keijinkai/grouphome/>

発行/社会福祉法人 深仁会 グループホーム西円山の丘

〒064-0944 札幌市中央区西円山町4丁目3-21

TEL 011-640-2200



社会福祉法人 深仁会

グループホーム西円山の丘

